

シルバー

かわさき

平成7年1月1日

第 7 号

財団法人
川崎市シルバー人材センター
川崎市川崎区堤根34番地19
電話 044 (222) 1550



作品 新明國由会員

寿
夔



理事長 竹島 與 男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様並びに関係者の方々におかれましては、晴れやかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、バブル経済の崩壊に伴う深刻な不況にもかかわらず、センター事業は極めて順調な伸びを示すことができました。これもひとえに会員の皆様のご努力と市民各位の暖かいご支援の賜だと深く感謝しております。

今年、「会員とともに歩む組織づくり」を目指して運営にあたりたいと考えておりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

おわりに、会員の皆様並びに関係者の方々のご健康とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

シルバー人材センターの
更なる発展に向かって

常務理事
事務局長 櫻井 正雄

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

人口の高齢化は急速に進展してきており、川崎市においても60歳以上の人口が14・38%になりました。このように本格的な高齢化社会を迎え、センターは、「会員の方々が永年培った知識、経験、能力をもっともって発揮できる組織」に発展する必要があります。そのためには、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもとに、センターと会員の皆様が一体となって、更なる就業開拓と会員の組織化を図っていくことがとても重要となります。

昨年末には、企業、公共機関へ「元気な高齢者が仕事を求めています！」をキャッチフレーズに発注の願いをいたしました。また、センターと会員との意思疎通を図り連携を強化するため、会員の中から地域活動推進委員を委嘱いたしました。一方、多摩、麻生区内の植木職員の会員の方々は、既に昨年の半ばから班体制組織による就業を開始いたしました。

今年、これらの活動を一層強化し、更なる発展に向かって邁進してまいりたいと存じますので、会員及び関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

地域活動推進委員が誕生しました

平成6年12月1日(木)に、事務所ごと
に2名、全市で6名の地域活動推進委
員が誕生しました。委員には、同日、セ
ンター本部で櫻井事務局長から委嘱状が
渡されました。

この委員は、会員相互の連帯意識を高
めるとともに、センターと会員との緊密
な連絡体制を整えるために設置されたも
のです。

委員は、各事務所長の招集により地域
活動推進委員会を持ち、地域に密着した
様々な活動を展開します。

会員相互のネットワークづくり、セン
ターと会員との連絡調整、市民へのPR
などが主な任務で、当面、会員のつどい・
ボランティア活動の運営への参加、会員
の良き相談相手として活動します。

(南部事務所地域活動推進委員)



つとむ たかし
月岡 隆志

職種Ⅱ表具

幸区中幸町3-26

☎(544) 7797



しんぺい くによし
新明 國由

職種Ⅱ表具

幸区南加瀬3-24-9

☎(588) 3380

(中部事務所地域活動推進委員)



はいばろ うらぐみ
生原 慶治

職種Ⅱ表具

高津区千年新町42-4

☎(766) 8574



うえとぐみ うへむら
上富 逸三

職種Ⅱ駐車場管理

高津区久本2-14-4

☎(866) 8664

(北部事務所地域活動推進委員)



せきやま ひでお
関山 秀夫

多摩区宿河原6-6-16

職種Ⅱ植木

☎(911) 9748



おかべ しげお
岡部 重次郎

多摩区枳形5-9-11

職種Ⅱ表具

☎(911) 7755

新北部事務所完成まじか

シルバーニュースかわさきの創刊号で
お知らせいたしました。が、北部事務所の
新事務所が、予定より1カ月遅れて、1
月下旬に完成いたします。工事の進行状
況によりますが、1月18日(水)に地域
行政、会員代表などをお招きし、内覧会
を行った後、日を改めて引っ越しし、1
月下旬から使用できる見込みです。



新北部事務所 目下建築中

区民祭に参加して

中部事務所

高津区民祭に去る7月31日(日)参加しました。総勢40名で、今年もセンター名物「長寿餅」を作るのに、朝からいや前夜から全員一丸となって頑張りました。



完売まであとわずか

と気が合いが入っていたのは言うまでもありません。

北部事務所

10月9日(日)に行われた「あさお区民まつり」と、11月20日(日)の「あさお福祉まつり」に参加しました。



はい 並んで並んで

まな板など、会員の心のこもった手作り作品も販売いたしました。

ボランティア活動報告

中部事務所

去る10月22日(土)、40名の参加により、恒例の多摩川河川敷の清掃を行いました。当日は秋晴れで、午前9時より約2時間、多摩川河川敷に散乱する空缶、ゴミ等を拾い集めました。前回同様、集められたゴミの山は軽トラック2台分。まだまだマナーの悪い人連が多い様です。



隅から隅まで

そのかいあって、すぐそばで無料でお餅を配っていたにも拘らず、完売となりました。今年の夏は、気象観測史上最高の猛暑ということで、本当に大変でしたが、無事終了することができました。

また、この後、久地の居酒屋で、暑気払いを兼ねた反省会を行いました。「来年も参加できるようにみんな頑張ろう!」

赤いハッピーを身にまとい「長寿餅」を一生懸命つくシルバーク会員の姿は、年など感じさせないほど元気でたくましかったです。両方のまつりとも、「長寿餅」を買い求める長蛇の列ができ、お昼過ぎには完売してしまいました。

また、「あさお福祉まつり」では、不要になった襖の見本帳で作った封筒や木製

一汗かいたその後は、みなさんお待ちかねの、バーベキュー。朝から歩き回ったおかげで、みなさんとても食欲旺盛で

した。「やはり、一仕事終わった後の一杯は格別だなあ!」こんな言葉も飛び出し、宴は最高潮に盛り上がりました。

みなさん、こんな楽しいボランティア活動です。来年は是非もっと多くの人の自主的参加をお待ちしています。

北部事務所

9月19日(月)に川崎授産学園内の屋外作業を行いました。35名の会員が集まり、見事な秋晴れのなか、植木と草刈り会員のリーダーが先頭に立って額に汗しながら無償の喜びをあげていました。



いい汗かいたね

お昼には、学園からフルーツゼリーをデザートとしていただき、皆おいしく食べ満足感でいっぱいでした。

書道の達人も四苦八苦!
「宛て名書き講習会」終わる

神奈川県シルバー人材センター協議会主催の宛て名書き講習会が、去る11月2日から21日までの間に、4回にわたり川崎市福祉センター研修室で開かれました。参加者は川崎市15名、横浜市15名、計30名の書道に心得のある会員。



添削に真剣なまなざし

講師の伊藤慶流先生の熱心な指導で、「はがき」「封筒」「祝儀不祝儀袋」「のし紙」「カード」「リボン」などの書き方を勉強しました。筆に自信のある会員の皆さんも、それぞれに細かな書き方のルールがあることを知り苦労されましたが、

最終日には修了証書を手に全日程を終わりました。

表紙について

今号の表紙は幸区南加瀬にお住まいで表具の仕事をしている新明國由(68)さんの作品です。

新明さんは、通信機器メーカーの九州営業所に単身赴任されていた頃、帆船模型作りに興味を持ち始め、余暇を利用して制作に熱中しました。船の掃除、置場所などで苦労していたときに、都内での第一回ボトルシップ展示会と出会い、すっかり虜になってそれから十有余年。作品数も数知れず。今は東日本ボトルシップ愛好会の会長として、川崎マリエンほか各地での展示会の開催・成人教育・夏休み子供教室などで活躍しておられます。

材料は不用品のリサイクルで、マストは焼鳥の串、帆は羽二重等の端布、船はカマゴコ板等。工具は手作りの由。

洋酒を楽しんだ後のビンに帆船を入れ、知人に差し上げ喜ばれたり、また横浜の日本丸に寄贈した作品は常設展示され、多くの人に鑑賞されております。

働くシルバー元氣人

高津区 福山 豊

私は昭和2年生れ、67歳の青年です。

大手電機メーカーに42年、経理財務経営コンサルタントの仕事に従事していました。定年退職後、市内の食品スーパーの経理顧問やテレビ映画関係の仕事をしました。ところが軽い眼病の緑内障になり、事務的な仕事をやめました。そして、この先、身体が動かなくなるとは困るのでシルバー人材センターに登録しました。



常にチャレンジ！

現在、スーパー長崎屋のお仕事を紹介して頂き、月13日程労働をして鍛えてい

ます。

これからの私の第三の人生は、社会に愛され迷惑をかけず、何時迄も若く夫婦仲良く過ごす事を考えています。それは今迄もそうですが、何時も好奇心をもって新しい事にチャレンジする事。年齢をきかれても「もう67歳です」と言わず「まだ67歳です」と言えば若さを保てるように思えます。

職場は若い人ばかりで自然若さがついて来ます。売場は女性がほとんどなのに力仕事も多いので、出来るだけ助けてあげ、人と人との「和」の精神を心がければ、その企業の業績に必ずや貢献するはずと信じています。それから老人だからと仕事を手抜きする人（センターの人ではありません）を見かけますが、私は一度引き受けた仕事はやり通す、出来ない事はハッキリ始めから出来ないと思し出て満足の行く仕事をした、シルバー人材センターの会員を雇って良かったと思われるようにありたいと思っています。

また、夫婦の間でも共通した趣味を少しでも多く持ち、家庭内で話題がたえないよう心がけています。共通の趣味は、スキー、スケート、水泳、ボーリング、絵

を書くこと、旅行、ダンス、観劇、と時間が足りないのが現状です。その他一人の趣味では、詩吟、麻雀、囲碁将棋、とまだまだあります。皆様も健康に注意され、少しでもご参考になればと筆をとりました。

宮前区 福井 隆

約40年勤務した会社を61歳で定年退職してから、まだ家に引籠もる年ではないし、色々模索した結果、20ヶ月にわたって次々と主として経理関係を中心に、各種の講習に参加しました。在職した会社の経理のやり方とは異なった面も垣間見ることが出来、大変参考になりました。

経理の大ベテラン
福井さん

今年の3月にはこれらの講習も一段落したので、これまでの経験を生かせないかと翌月川崎市シルバー人材センターを訪れました。パンフレットを見ると「お年寄り」「高齢者」の字句が溢れているのは些かがっかりしましたが、「生きがい」「社会参加」と自分の考えていたことにピッタリだったので、直ちに登録をお願いしました。

早速に職場を開拓していただき、お陰様で6月から中原区の団体で経理関係やワープロを中心に週3日勤務することになりました。専門職の集団の中で門外漢の黒一点、皆様に見守られながら頑張っています。

麻生区 成澤多美男

シルバー人材センターの紹介で私達3名、昨年12月1日からヴィンテージ・ヴィラでプール監視員として勤務し、早や1年を迎えようとしています。3人交替制で9時30分から4時迄、プール内の温度、湿度、水温、塩素、ペーハー、大腸菌等2時間おきに3回測定し、監視日誌に記録し月末に集計して報告しております。3日間のうち1日ぶつの勤務です。

ら3人一緒になる機会がありませんので、時折り顔を合せ飲食会を持って、交流を深め充実した日々を過ごしております。



プールの健康管理は
まかせて

現在入居者120人、プール利用者延66人、一日平均利用者7〜8人。中でも驚嘆されることは、80歳の方が水泳に興味を持ち、高齢の手始めで7月から5ヶ月間継続されていることです。その勇気と忍耐には大いに学ばされることがあります。またプール談議で和気あいあいに利用されている光景には感心します。出身は、北は北海道から南は九州の果、経験された職業もいろいろで、大学教授、医師、特派員、教員、技術者等現在も勤務されている方もいます。人生経験の豊

富な方々の昔堅気で礼儀正しく、何時も笑顔で挨拶を交し迎えてくれる姿勢が勇気と希望を与えてくれます。

生涯学習の場、よい機会を提供していただき感謝しています。

私達も健康保持に務め、地域社会発展のため、希望を持ちながら献身的に努力していきたいと思えます。

文芸コーナー

麻生区 横山 光治

冬紅葉 背より冷え来し 滝の径

かたまりて 園児が拾ふ 木の实かな

業平の 名の枯菖蒲 木橋かな

多摩区 大谷内 眞知子

新春の しづけきあさや 鐘すみて

ばん秋の すいすいとびこう

あきあかね

事務局通信

第2回「会員のつどい」のお知らせ

会員の親睦と連帯意識の高揚を図ることを目的とし、「仲間の輪を広げよう」をスローガンに「会員のつどい」を開催します。多くの会員のご参加をお待ちしております。

日時 平成7年1月28日(土)

午後1時30分～4時

会場 高津区役所5階 大会議室

内容 ①会員の体験談

②会員による演芸大会

③民謡ショウ

配分金の口座振込のお知らせ

配分金については、現在、各事務所で現金でお支払しております。

しかし、会員の皆さんにとっては、配分金を取りに来る不便さがあり、また、事務局にとっても、昨今の世情を考えると現金事故の心配がありますので、4月を

目途に口座振込方式を導入したいと考えております。

詳細については、別途ご案内いたしますが、その際には、ご協力くださるよう予めお願いいたします。

北部事務所引越しのお知らせ

1月下旬に引越しを予定しておりますので、ボランティアでお手伝いをしてくださる方を募集しております。

お手伝いいただける方は、北部事務所までご連絡ください。

☎(951) 1700

配分金支払証明書について

平成6年中にセンターで仕事をされた方に「配分金支払証明書」を発行いたします。

この証明書は、所得税の確定申告の際に税務署に提出するものです。

配分金は、公的年金と同様、所得税法上の雑所得とみなされ、課税の対象となります。しかし、配分金、公的年金それぞれに所得控除額があり、また、それら

の控除後の所得額の合計額からさらに基礎控除などが行われたものに税率がかけられて課税額が決定されるというように計算が複雑です。したがって、確定申告が必要か否か及び課税額などについては、税務署にお尋ねください。

配分金支払日

2月14日(火) 午後1時から
3月14日(火) 午後1時から

編集後記

昨年10月に「シルバーニュースかわさき」を発行したために、この会報の準備が遅れてしまいました。無理を聞いていただいて、短期間に原稿をお寄せくださった会員の方から感謝いたします。また、立派なポトルシップをお貸しいただいた新明さんにもお礼申し上げます。より多くの会員のご意見を載せられるよう今後も頑張ります。(編集員一同)